

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『私達の学校給食』

町田市立堺中学校 3学年 宮下 修

税金の新たな使われ方について、今、中学生の私が最も感謝しているのは、中学二年生の二学期から始まった学校給食です。それまでは、各自がお弁当を持ってきたり、業者さんの冷たいお弁当を食べたりしていました。そのため、できたての温かい食事をみんなと同じように楽しむことはできませんでした。しかし温かい給食が始まってからは、毎日の食事がとても楽しみになりました。温かい食事を囲むと、自然とみんな笑顔になります。

給食を食べるとき、私はいつも考えます。このおいしい食事は、どのようにして私たちのもとに届くのだろうか、と。給食は、隣の学校で朝早くから調理され、温かいままお昼間近に私達の学校へ届けられます。配達してくれる方々や、隣の学校で給食を作ってくれる方々が、一つ一つ丁寧に食材を扱い、おいしい料理に仕上げてくれているのだと思うと、とてもありがたい気持ちになります。栄養のバランスや安全面にも気をつけながら、私達に届けてくれるその努力に、私は深く感謝しています。

私は給食が大好きです。大好きな牛乳が飲めることはもちろん、給食を残さないために他のクラスへ余っている給食を友達ともらいに

行ったり、じゃんけんをしてどちらか決めたりする楽しみもあります。お弁当の時よりも、給食ならではの面白さやワクワクする瞬間がたくさんあります。こうした日々の小さな楽しみの背景には、毎日温かい給食を届けてくれる多くの人々の努力があります。

そして、この給食を支えているのが、私達が普段支払っている税金です。税金は道路や公園を作ったり、医療や福祉を支えたりするだけでなく、学校の給食のように、私達の生活を直接便利で豊かにするためにも使われています。給食を運んでくれる人や作ってくれる人に給料が支払われるのも、税金があるからこそです。普段は目に見えないものですが、こうして毎日温かい食事が食べられることを通して、税金が私達の生活に大きな役割を果たしていることを実感できます。

私は給食を食べるたびに、作ってくれる人や運んでくれる人、そしてその活動を支えている税金に感謝の気持ちを抱きます。税金は、私達一人一人が支えている大切なものであり、それがどのように使われているかを知ることが、社会の一員としてとても大切なことだと思います。

これからも私は、温かい給食を楽しむと同時に、その背景にある多くの人々の努力や税金の大切さを忘れず、感謝の気持ちをもって生活していきたいです。そして、いつか自分も、大人になったら社会に貢献できるような人になりたいと考えています。